

# 平等を支える仕組みを学ぶ

～パクオータ制の現状と課題～



団体班

小森谷 直美, 内藤 幾愛, 藤森 結花

1

## 視察の趣旨

ハーモニーフライトいばらき2017報告

- 40年前はノルウェーも日本と同様、女性は家庭で生活するものとみなされていた。
- 福祉先進国となったノルウェーの歴史について学びたい。
- 日本での女性の社会進出を促進する手がかりを考えてみたい。



2



# 平等センター gender for equality

施設名： Likestillingscenteret (シーケスティリングスセンテレット)  
担当者： Seniorrådgiver (シニアアドバイザー)  
Frøydís Sund (フロイディス・スン)

- 1983 年設立
- 非営利団体
- 職員5人
- 女性の地位向上を目指して、研究（同権・平等を勝ち取るための男女平等・移民格差・LGBT等）やセミナー、外部への情報提供等を行っている。



## パクォータ制 Fathers quota

1993年に制定

全育児休暇期間のうち、一定期間を父親に割り当てる法制度

- 父親の育児参加はノルウェーでは当然のこと。
- 母親の子育てと仕事を両立させる大きな支えになっている。



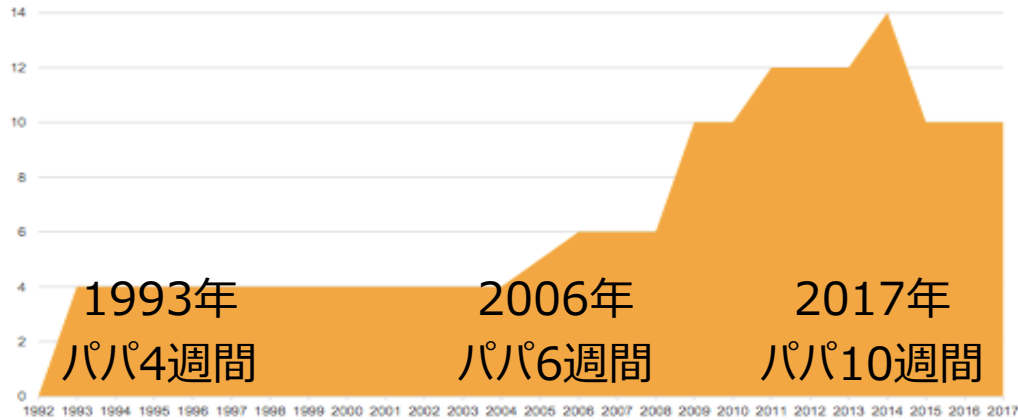


# パパクォータ制 Fathers quota

夫婦で選択できる期間と支給額

49週間取得 → 給料100%支給

59週間取得 → 給料80%支給



平等センター提供

※政権により左右される



# パパクォータ制の成果

- 国民の中で、パパクォータ制は権利として大切であると浸透した。
- 女性の社会進出が促進された。
- 一日の家事労働時間が劇的に変化した。

	ノルウェー	日本
ママ	5時間26分	7時間41分
パパ	3時間12分	1時間7分
差	2時間14分	6時間34分

ノルウェー：Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men"(2004)  
 日本：総務省 社会生活基本調査 (2011)

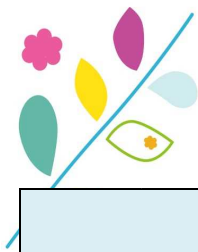


## パパクオータ制の課題

- 自営業や営業のような歩合制で基本給が低い職業の人たちは、給与100%支給では十分な生活保障が難しい点。
- 規模の小さな会社や個人事業は、取得が難しい点。



7



## 男女共同参画の歴史

ノルウェー	日本
1972 女性の就労率45%	1945 婦人参政権、日本国憲法制定
1978 男女平等法制定	
1983 平等センター設立	1985 男女雇用機会均等法制定
1993 パパクオータ制 パパ4週間	1986 女性の就労率53%
2009 パパクオータ制 パパ10週間	1999 男女共同参画社会基本法制定
2010 女性の就労率70%	2017 女性の就労率66%
2017 9月 女性国会議員 41.4%	2017 女性衆議院議員47名(10%)
2017 9月 女性閣僚9名 (47%)	2017 女性閣僚 2名(10%)

- 日本これからよ！

8